

保護者会連合会だより

令和4年3月1日 No. 2

今年度もいよいよ年度末、寒かった冬も少しずつ暖くなり、一步一步春が近づいています。

さて、今年度の保護者会連合会の活動も残りわずかとなりました。例年とは違った状況の中で、自分達に今何が出来るのかを皆で考え、模索してきた一年でした。年度末にあたりまして、今年度の活動報告をさせていただきます。



保護者会連合会の活動を振り返って

益田市保育研究会保護者会連合会
会長 宮崎裕一郎（高津保育園）

昨年の夏に保護者会連合会の会長の任を受け、今日まで保護者役員の方や事務局の保育研究会の皆さんと一緒に活動を行ってきましたが、終わってみればあっという間の一年間でした。

会長の任を受けた時は、正直、保護者会連合会がどういった組織でどんな活動を行っているか全然知りませんでした。やるからには少しでも子育て環境の改善に役に立てるよう頑張ってみようと思いを活動を行ってきました。

今年度実施した活動は2つで、1つ目は市への要望活動です。

これは、毎年行っている活動で、保護者の声を市政に届けるため、すべての保育園及び保育所型認定こども園の保護者の方にアンケート行い、保護者が抱える悩みや子育て環境の問題点等を要望書にまとめ、市へ提出するものです。

今年度も保護者の方々からたくさんの回答を頂き、その中から医療体制の確保や公共施設の充実など6つの項目を要望書にまとめ市へ提出を行いました。要望活動当日は市長、市議会議長、副議長へ直接要望書を手渡すことができ、市長との意見交換では役員それぞれが要望に対する思いを伝えることができました。その結果もあり、昨年度から要望を続けていた市民体育館キッズルームの備品等の整備を、今年実施していただけることとなりました。

続いて2つ目の活動です。2つ目の活動は親子対象事業で、園を越えた子供や保護者の交流の場として、連合会がイベント等を企画し実施するものです。

令和2年度はコロナ禍により交流の場を作ることができなかったので、今年度こそは親子でふれあうイベントを実施したいと思い、「劇団うりんこ」さんをお招きして舞台劇「きみがしらないひみつの三人」の公演を計画し、準備を進めてきましたが、今年に入ってからオミクロン株によるコロナの再拡大により、残念ながら実施を断念することとなりました。

しかし、イベントはできないにしても何かできることはないかと考え、コロナ禍での保育園生活を少しでも充実できたらと思い、各園に図書券を贈呈することとしました。

昨年度に続き交流の場を作ることができなかったのは大変残念ですが、新しい図書で子どもたちが少しでも笑顔になってくれれば嬉しく思います。

連合会では以上の2つの事業を実施しましたが、コロナ禍ということもあり、なかなかうまく事業が進まないこともありましたが、役員、研究会の皆様の見解やサポート等もあり、なんとか無事に1年を終えることができました。役員、研究会の皆様、不甲斐ない会長でしたが、一年間本当にありがとうございました。

私自身も、保護者会連合会の会長という大変貴重な経験をさせていただき、また子を持つ親として益田市の子育て環境の改善の一助を担えたことを嬉しく思います。

最後になりますが、保護者の皆様や各園の先生方にはアンケート等、保護者会連合会の活動にご協力いただきましてありがとうございました。また、今後も連合会の活動は続きますが、引き続きご支援、ご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

◆要望書提出 令和3年11月8日

今年度も益田市内認可保育所(園)・認定こども園の保護者を対象にアンケート調査を実施し、527件の回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。保護者会連合会及び益田市保育研究会ではこのアンケート結果を集計し、下記のように生の声をまとめ、益田市へ要望書として提出いたしました。

要望趣旨

本市におかれましては、かねてより保育行政に鋭意努力され、子ども達と私たち保護者に対しまして格別のご配慮を頂き、深く感謝申し上げます。

これまで、私たち益田市保育研究会保護者会連合会では、毎年、全ての保育所及び保育所型認定こども園の利用者を対象にアンケートを実施し、子育て世代の声を市政に届ける活動を続けて参りました。

毎年、このアンケートには、子育てに困難を抱える皆さんの様々な声が寄せられ、まだまだ改善が必要な点があることに気付かされるものとなっています。

共働き家庭が当たり前の時代となり、年間の出生数は増えていないにもかかわらず保育所(園)や認定こども園を利用する家庭の割合はまだまだ増加しています。そして、多くの保護者が先行き不透明な時代への不安を抱えながら子育てをしている中で、更に今年度も収束の見えない新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、その不安は例年以上に大きなものとなっています。

子どもは地域に活力を与える益田市の未来そのものと言える存在です。

子ども達とかかわる中で大人も成長し、子ども達のためという思いが自分たちの暮らす地域をより良くしたいという思いに繋がっていきます。

全国に誇れる「ひとが育つまち益田」に向け、益田市次世代育成支援計画の基本理念として謳われる「家庭と職場と地域、社会全体で子育ての喜びを分かち合える益田。生まれた喜び、愛される幸せの実感を、次の世代につなげる益田。」の実現に向け、更なるご支援をお願い致します。

要望事項

一 益田市特定教育・保育に係る保育料負担額等の軽減

- ・3歳以上児については無償化となりましたが、副食費については無償化の対象とならない世帯も多くあります。副食費の無償化や負担軽減をお願いします。
- ・0～2歳児の利用者の保育料についても更なる保育料負担軽減をお願いします。

二 安心して産み育てることのできる医療体制の確保

- ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、小児科医・産婦人科医の人材確保をお願いします。
- ・不妊治療の助成制度について、更なる拡充と制度の周知を図ることをお願いします。

三 安心して仕事と子育てができる社会環境の整備

- ・安心して仕事と子育てが両立できる差別や偏見のない労働環境となるよう、「まずだ子育て応援宣言企業」の登録を進めるのはもちろんのこと、各事業所への積極的な啓発を行い、子育てに理解のある事業所の拡大をお願いします。
- ・子ども達が安心して通学や散歩ができるよう、危険個所の整備など通学路および散歩コースの安全対策の強化をお願いします。

四 公共施設の整備・充実

- ・使われていない公共施設の活用や、公共施設の統廃合における新たな機能として、雨天時・猛暑時でも子ども達が体を動かして遊べる屋内型遊戯施設の整備をお願いします。
- ・市民体育館のキッズルームの備品の整備充実と周知の徹底をお願いします。
- ・野外活動や屋外で遊べる施設の整備・広報の充実をお願いします。

五 放課後児童クラブの整備・充実

- ・放課後児童クラブの質の向上のための支援員の確保と研修の充実、老朽化した施設の計画的な建て替え、及び待機児童の解消のための整備をお願いします。

六 周辺部の子育て環境の充実

- ・人口流出や少子化により子育て世代が減少している市内周辺部でも、安心して子どもを産み育て続けられるよう、「周辺部の子育て環境の充実」という視点での検討をお願いします。

令和3年11月8日
益田市保育研究会保護者会連合会
会長 宮崎裕一郎

要望に対する回答について

令和3年12月10日
益田市長 山本浩章
(子ども福祉課)

平素より、本市福祉行政に対して格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、子ども・子育てを取り巻く状況は、社会環境の変化等に伴う核家族化や就労形態の多様化などにより、保育・子育てニーズが増大・多様化しています。

令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」が開始されたところですが、全国的にも依然として保育施設や放課後児童クラブの待機児童問題、保育士不足等をはじめとした様々な課題が山積している状況です。

「第2期益田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、課題の明確化、市民・事業者・行政における協働の加速化を推進し、より一層の子育て環境の充実を図ることとしております。

貴会より頂きました要望に関しまして、次のとおり回答いたしますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

一 益田市特定教育・保育に係る保育料負担額等の軽減

- ・ 3歳以上児については無償化となりましたが、副食費については無償化の対象とならない世帯も多くあります。副食費の無償化や負担軽減をお願いします。

【回答】

幼児教育保育無償化制度については、国において定められたものとなりますが、益田市としても多子世帯への支援の強化や少子化対策として、国の制度において副食費の免除対象とならない第1子・第2子のうち、第2子に係る副食費を全額(4,500円)免除し、保護者負担の軽減を図る取り組みを無償化の実施に併せて令和元年10月1日から実施しているところです。

市としても独自の取り組みを既に実施しておりますことから、副食費の全額免除や新たな負担軽減を実施するのは困難です。

- ・ 0～2歳児の利用者の保育料についても更なる保育料負担軽減をお願いします。

【回答】

平成28年度から多子世帯の第3子以降の3歳未満児の保育料を1/2軽減から無料としております。

令和元年10月からの無償化実施にあたりましては、市の新たな負担も増加していますことから、0～2歳児の保育料について、新たに単独で負担軽減措置を実施することは困難な状況です。

二 安心して産み育てることのできる医療体制の確保

- ・ 誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、小児科医・産婦人科医の人材確保をお願いします。

【回答】

医療体制の充実及び医療従事者の確保につきましては、市の最重要課題のひとつとして位置付けており、特に産婦人科・小児科の分野につきましては、安心して安全に子どもを産み・育てる生活環境向上のために重要な分野であると強く認識しているところです。

産婦人科については、益田赤十字病院へ島根大学医学部産科婦人科から3名の医師の派遣を受けております。令和2年度益田市の分娩件数は、全体で292件であり、うち63件の里帰り分娩を受け入れることができている。今後もこの体制を維持できるよう努力していきます。

小児科については、島根大学医学部小児科の医師の減少によって、平成28年4月から益田赤十字病院の小児科医は4名体制から3名体制となっています。そのことにより、外来診療の完全予約制や予防接種件数の制限等の状態が現在も続いています。これにつきましては、市民の皆様にもご負担がある中で、ご理解、ご協力をいただいているところと考えています。このことに対しては、島根大学医学部小児科に出向く等により、市の厳しい現状を伝えていきます。また、開業医の高齢化により小児科診療所も減少してきている中、島根大学医学部及び島根県等と更に連携を深め、医師確保に向けた取組を検討していきます。

今後とも、小児科医、産婦人科医等が疲弊し、診療体制の崩壊を招くようなことがないように、今後も医師確保に向けた取組をすすめるとともに、市民の皆様にご理解、ご協力をいただいで医療が安心して受けられるまちづくりを推進していきます。

- ・不妊治療の助成制度について、更なる拡充と制度の周知を図ることをお願いします。

【回答】

不妊治療については、平成 26 年度より「一般不妊治療」への助成を実施しております。

さらに、令和 2 年度より制度の拡充を図っており、一般不妊治療への助成費を増額するとともに、新たに不育症（妊娠はするものの、流産、死産等を繰り返す状態）への治療費の助成制度を開始したところです。令和 2 年度の助成件数は 30 件、不育症は 3 件で年々、助成件数が増加しております。また、制度の周知につきましては、医療機関や助産院との連携や市広報、ホームページ等での周知や不妊・不育症を中心とした女性のための健康情報フリーペーパーも窓口を設置しているところです。

今後も、こうした制度の十分な周知と説明や相談に応じてまいりたいと存じます。

三 安心して仕事と子育てができる社会環境の整備

- ・安心して仕事と子育てが両立できる差別や偏見のない労働環境となるよう、「ますだ子育て応援宣言企業」の登録を進めるのはもちろんのこと、各事業所への積極的な啓発を行い、子育てに理解のある事業所の拡大をお願いします。

【回答】

「ますだ子育て応援宣言企業」として登録していただいている業者が、現在 48 者ございます。今後ともワークライフバランスを推進し、結婚から子育てまで安心して働ける職場環境づくりのために事業所と連携し、この登録制度の周知や啓発を市 web サイトや広報ますだで、行うとともに、今後さらなる子育てに理解のある事業所の拡大に取り組みます。

- ・子ども達が安心して通学や散歩ができるよう、危険個所の整備など通学路および散歩コースの安全対策の強化をお願いします。

【回答】

小・中学校については、通学路の安全確保に関する取組方針をまとめた「益田市通学路交通安全プログラム」に沿って通学路の安全対策を実施しています。

毎年、各校で抽出された危険箇所について、道路管理者や警察などの関係者で合同点検を実施して改善・充実を図っています。

特に保育所等については、令和元年 5 月、滋賀県において、集団で歩道を通行中の園児らが死傷する痛ましい交通事故が発生しました。そうしたことから、未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を保育所等の施設関係者、警察、国土交通省、島根県、市土木課、子ども福祉課で合同点検し、対策を検討して改善を図っています。

過去の通学路点検により危険箇所は少しずつ改善してきていますが、引き続き、こういった努力と関係機関へ要望しさらなる改善を図ってまいります。

四 公共施設の整備・充実

- ・使われていない公共施設の活用や、公共施設の統廃合における新たな機能として、雨天時・猛暑時でも子ども達が体を動かして遊べる屋内型遊戯施設の整備をお願いします。
- ・市民体育館のキッズルームの備品の整備充実と周知の徹底をお願いします。
- ・野外活動や屋外で遊べる施設の整備・広報の充実をお願いします。

【回答】

市では平成 28 年 12 月に策定した益田市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の総延べ床面積を 30 年間で 30%縮減する方針で、統廃合を進めており、市民体育館の有効活用としてキッズルームを整備したところです。今後有効に活用していただくように、備品の整備を行うとともに、健やかに遊ぶ環境をコーディネートする人材を養成するなど、様々な充実を図ってまいります。

また、より多くの人に使っていただけますよう、市 web サイトや広報ますだにより、施設の周知を図っていききたいと思います。

五 放課後児童クラブの整備・充実

- ・放課後児童クラブの質の向上のための支援員の人材確保と研修の充実、老朽化した施設の計画的な建て替え、及び待機児童の解消のための整備をお願いします。

【回答】

放課後児童クラブの質の向上のため、子どもの理解や育成、安全安心への対応に関する研修を年 5 回程度実施しています。

施設については、令和2年にはトマト児童クラブを整備し、本年度は都茂児童クラブを移設するため整備をしたところですが、その他の施設においても安全・安心に過ごすことができるよう対応していきます。

一部の児童クラブにおいて待機が発生し、ご迷惑をおかけしていますが、児童数の推移と利用ニーズを正確に把握して、学校施設や地域の様々な施設を活用するなど、保護者が安心して子育てと仕事の両立ができるよう対応してまいります。

六 周辺部の子育て環境の充実

- ・人口流出や少子化により子育て世代が減少している市内周辺部でも、安心して子どもを産み育て続けられるよう、「周辺部の子育て環境の充実」という視点での検討をお願いします。

【回答】

市内周辺部においても、保育等の継続ができるよう引き続き支援をしてまいります。

また、地域の特色に応じた、様々な取り組みを子育て世代を中心に、地域が一緒になって子育てを行う環境整備を行っていただいております、こうした活動に対する支援も引き続き行ってまいります。

今後、新たな公民館、学校などの施設の整備を行う場合には、なるべく地域の要望を伺い、様々な機能を持つ複合的、一体的な整備を行うなど、新たな取り組みを進めてまいります。



市への要望書提出

副会長 檜谷 佑（原浜保育所）

今年も保護者の皆様からのアンケートを元に益田市への要望書を作成し、提出させていただきました。

はじめての経験で何をしても良く分かりませんが、役員の皆様の意見や各園の先生方、事務局の方からアドバイスをいただき要望書を作ることができました。いろいろな意見や考えを知る事ができ、とても貴重な経験になりました。決して頼りになる副会長ではありませんでしたが一年間ありがとうございました！

要望書の提出について

監事 寺戸頭太郎（横田保育園）

今年も保護者の皆様へのアンケート調査を元に益田市への要望書を作成し、提出をさせていただきました。益田市において安心安全に子育てができる社会環境を整えて頂くよう益田市長をはじめ、市議会議長、副議長にもお話を聞いていただきました。

今回はひとまるビジョンの取材があり、その様子をひとまる情報局にて放送していただきました。よって保護者の皆様だけでなく、市民の皆様やこれから保護者になれる方にも少なからずどのような要望をしているのかを知っていただけたのではないかと考えております。

今後につきましても、安心して子育てができる社会環境となるよう、皆様の声を届けていきたいと思っておりますので、アンケート等にて沢山の意見、要望を頂きたいと思っております。

親子対象事業について

監事 来島さゆり（中須保育所）

昨年度、コロナ禍でイベントを開催できなかった、保護者会連合会としては、「今年こそは・・・。」と、いう思いで企画した、「劇団うりんこ」さんの「きみがしらない ひみつの三人」の劇公演。「劇団うりんこ」さんは、名古屋に劇場を構え活動されています。本物の優れた文化に触れにくい田舎の環境にある益田市の子どもたちにとって、このようなプロ生の舞台を鑑賞する機会は貴重であり、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成につながると考えます。こういった活動を続けて50年目になる「益田おやこ劇場」と協賛してのイベントでした。参加申し込みを募ったところ、多数の応募があり、さあ、準備をしようかと思った矢先、再びコロナウイルスの感染拡大を受け、大変残念ながら開催を延期せざるを得なくなりました。この強い思いを、ぜひ来年度につなげ、来年度こそは「劇団うりんこ」さんの素敵なステージを開催できるよう祈っております。

と、いうことで今年度は急遽、イベントの開催は見送り、各園に図書カードを渡すことになりました。各園で素敵な本を購入していただきます。

「うりんこ」とはいのししの子どものこと。「劇団うりんこ」さんの劇団名は「すてきな舞台を届けに、いのししみたいにまっすぐ走っていこう」という、思いがあるそうです。このようなことになり、気もちは沈みがちですが、先を明るく見て、うりんこのように前に向かって走って行きましょう。

一年間の活動を振り返って

副会長 寺戸豊太郎（東仙道保育所）

今年度もコロナ禍の中、役員として研究会事業を経験させて頂きました。

自身が役職にあった役割を果たすことが出来たとは全く思えませんが、会議を通じて、同じ子育て世代の役員の皆さんとお話をする機会を得たことは、とても良い経験となりました。来年度役員となる皆さん、子育てにお忙しい中の会議・事業参加は大変ですが、得られるものがきっとあると思いますので、頑張ってください！

コロナの影響で、計画した事業が実施できない事は大変残念なことでした。次年度こそ、コロナが収束して、各種事業が実施出来ることを祈っています。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染拡大により、大変残念ながら、今年度は親子対象事業を開催することができませんでした。

そこで保護者会連合会より、各園に図書カードを進呈させていただきました。絵本等の購入にご活用いただき、保育園での楽しい思い出が少しでも増えてくれることを願っています。



令和3年度 保護者会連合会役員

会長：宮崎裕一郎（高津保育園）

副会長：檜谷 佑（原浜保育所）、寺戸豊太郎（東仙道保育所）

理事：原田俊明（匹見保育所）、石田智史（まるに保育所）、隅野絢子（すみれ保育園）

監事：来島さゆり（中須保育所）、寺戸頭太郎（横田保育園）

